

授業科目

放射性同位元素検査技術学

担当教員名 泉川 卓司	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			

授業の概要

1. 放射能・放射線の性質について説明する。
2. 放射線測定法について説明する。
3. RIの検体検査法について説明する。
4. RIの生体内検査法について説明する。
5. RIの安全な取扱いと管理法について説明する。
6. RIの関連法規について説明する。

授業の目的

1. 放射線同位元素(RI)を背景とした放射線科学の基礎を習得する。
2. RIに関連したインビボ・インビトロ検査の知識を理解する。

学習目標

1. 放射能・放射線の性質について説明できる。
2. 放射線測定法について説明できる。
3. RIの検体検査法について説明できる。
4. RIの生体内検査法について説明できる。
5. RIの安全な取扱いと管理法について説明できる。
6. RIの関連法規について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	放射能・放射線1 放射線同位元素、原子核崩壊	講義	泉川 卓司
2	放射能・放射線2 放射線の性質、線量と単位	講義	泉川 卓司
3	放射線の測定1 放射線検出器	講義	泉川 卓司
4	放射線の測定2 応用計測機器	講義	泉川 卓司
5	放射性同位元素の製造	講義	泉川 卓司
6	検査法の分類	講義	泉川 卓司
7	放射性医薬品とその基本性質	講義	泉川 卓司
8	検体検査法1 インビボ検査1	講義	泉川 卓司
9	検体検査法2 インビボ検査2	講義	泉川 卓司
10	検体検査法3 インビトロ検査	講義	泉川 卓司
11	体外測定による検査法1 臓器別検査1	講義	泉川 卓司
12	体外測定による検査法2 臓器別検査2	講義	泉川 卓司
13	安全な取扱いと管理法1 人体に対する影響、関連法規	講義	泉川 卓司
14	安全な取扱いと管理法2 取扱法と管理	講義	泉川 卓司
15	まとめの講義	講義	泉川 卓司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	臨床検査学講座 放射性同位元素検査技術学	藤井 張生、牧石 典之、村田 雄二 他	医歯薬出版	2002年	2,100円	2002年2月
参考書						

評価方法

定期試験(100%)

履修上の留意点

放射線は人体にとって作用が様々である。予習・復習をしっかりとおこなって放射線に関する基礎知識を理解してください。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。